

教育目標 かしこい子 やさしい子 たくましい子 文責：小松久展

7月は『ココロねっこ運動』強調月間

『ココロねっこ運動』とは、家庭・学校・地域社会・行政が一体となり、青少年の健全育成と環境浄化の普及及び実践を目指す県民運動の名称です。

活動の内容は、以下のとおりです。

※ ※

1. 広報啓発活動
2. 適切なインターネット利用の推進
 - ①「ネット・電子メディア利用 ながさき基準・夜9時まで」等の推進
 - ②メディアの課題と対策等の啓発
3. 子供の安全確保と保護活動や有害環境浄化活動の推進
 - ①各団体が連携した補導活動やあいさつ・声かけ運動の推進、安全見守りボランティア等
 - ②薬物乱用防止対策等

2-①に書かれている「ながさき基準・夜9時まで」とは、ネットやメディアの遊びや楽しみを夜9時までと定め、適切な利用や心身の発達への悪影響を減少させることを目的とした基準で、その理由は以下のとおりです。

○就寝2時間前に、スマホやタブレット等の映像や画面から離れることが睡眠、脳科学、依存症の研究者等から推奨されている。

○ゲームや動画視聴、アプリ利用など、遊びや楽しみとしてのメディア依存が、健康的な生活習慣や効率的な学習習慣の阻害要因の一つになっている。

※ ※

ご家庭でお子様と話し合っ、「ゲームやスマホは夜9時まで」などのルールを決めて適切に利用するようご指導をお願いします。

命を守る

『有小っ子のところを見つめる教育週間』の期間中は、校区内の民生委員の皆様をはじめ、たくさんの地域の方に来校いただき、子供たちの様子を参観していただきました。

保護者やご家族の皆様も、天気の良い中、授業参観及び学級部会においでいただき、誠にありがとうございました。

※ ※

先日、地域の方から、小学生がヘルメットを被らずに自転車に乗っているという忠告をいただき、学校で指導しました。

三十数年前、有家小学校の児童がヘルメットを被らずに自転車に乗っていて交通事故に遭い、亡くなっています。

私が高校生の時には、同級生が自転車で登校中に交通事故に遭い亡くなりました。ヘルメットの紐をしっかり締めていなかったために、車に衝突した勢いでヘルメットが外れて頭部を強打したことが原因でした。

有家小学校区内は交通量が多いにも関わらず、自転車が安全に通行できる道路幅が確保されていない場合がほとんどです。

小学生や中学生がヘルメットを被らずに自転車に乗っているのを見かけたら、呼び止めて注意してください。また、学年や氏名を確認して、学校にお知らせください。子供たちの命を守るための声掛けや連絡をお願いします。事故が起こってからでは遅いのです。

※ ※

また、夏は水遊びの機会が多くなるので、水難事故にも十分に注意してください。

学校では、子供だけで川や海に遊びに行かないよう厳しく言い聞かせておりますので、家庭でも十分に指導してください。子供たちの命を守るための家庭教育をお願いします。

裏面には、海上保安本部からの注意を載せていますので参考にしてください。